

第 11 回伊賀市歴史的風致維持向上協議会会議録

日 時 2020（令和 2）年 6 月 1 日（月）10：00～11：50

場 所 伊賀市役所 5 階 501 会議室

出席者 菅原洋一（会長 三重大学名誉教授）

《市民団体代表等》

松生龍治（上野西部地区住民自治協議会長）

奥川繁也（島ヶ原地域まちづくり協議会副会長）

安本秀男（阿保地区住民自治協議会長）

滝井利彰（伊賀市文化財保護審議会長（建造物担当））

《行政関係者》

藤森正也（三重県県土整備部都市政策課長）

林 幸喜（三重県教育委員会事務局社会教育・文化財保護課）

代理 伊藤裕偉（三重県教育委員会事務局社会教育・文化財保護課有形文化財班長）

東 弘久（伊賀市産業振興部長）

山本 昇（伊賀市建設部長）

中林靖裕（伊賀市教育委員会事務局長）

《オブザーバー》

嘉戸重仁（国土交通省中部地方整備局建政部都市調整官）

《委員随員》

福山英樹（三重県県土整備部都市政策課市街地整備班主査）

《事務局》

笠井賢治（伊賀市教育委員会事務局文化財課長）

福島伸孝（伊賀市教育委員会事務局文化財課主幹）

堀川敬二（伊賀市産業振興部中心市街地推進課長）

深尾竜也（伊賀市建設部都市計画課主幹）

福岡一輝（都市計画課）

欠席者 浅野 聡（副会長 三重大学大学院工学研究科教授）

1. 開会挨拶

中林事務局長

事務連絡及び委員紹介等 笠井課長

2. 報告事項

（1）事業経過

《資料 1 により福島主幹が説明》

（委員から特に意見なし）

(2) 令和元年度計画変更について

《資料2により福島主幹が説明》

・主な変更点

第3章1 伊賀市のこれまでの取り組み

(1) 上野城下町における歴史的風致の維持及び向上に関する取り組み

【城内の歴史的景観保全に関わる取り組み】

【城下町の歴史的景観保全に関わる取り組み】

【歴史的風致を生かした中心市街地活性化の取り組み】

(3) 文化財の保護に関する取り組み

【登録文化財について】

【無形民俗文化財】

【伝統工芸、伝統産業について】

2 伊賀市の歴史的風致を取り巻く現状

4 伊賀市の各種計画との関連性

(6) 伊賀市空家等対策計画

5 伊賀市の歴史的風致の維持及び向上に関する基本方針

(1) 文化財の保存に関する方針

(2) 歴史的な町並みの保存・活用に関する方針

(5) 歴史的風致を活用した観光・交流促進・情報発信に関する方針

第4章4 伊賀市の都市計画との関連性

(4) 文化財保護法関連法令との整合性

第6章2 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事業

第7章5 指定された歴史的風致形成建造物

(質疑応答)

菅原会長 計画変更については、前回の協議会で議論をしたが、決定には至らなかったと記憶している。協議会後の変更点があれば説明すること。

事務局 協議会後に大きな変更点はありません。前回でいただいたご意見は、計画書に反映して、菅原会長にご確認いただいて国へ提出しました。

菅原会長 計画書は、市H・Pで公開されるのか。

事務局 現在、更新した計画書を公開しています。ただし、容量の関係から2章は割愛しています。

3. 協議事項

(1) 令和元年度進捗管理について

《資料4 (令和元年度進捗評価シート (案)) により福島主幹が説明》

(質疑応答)

奥川委員：栄楽館をはじめとする城下町ホテル構想の進捗状況と、古民家再生活用事業の取り組みはどうか。

事務局：上野城下町区域において城下町ホテル事業は、当初の予定では、今年の5月から6月に開業予定であったかと思えます。新型コロナの影響もありますが、今年度上半期には開業していくものと聞いております。古民家再生事業について、空き家対策室にて、計画書に位置付ける予定であったかと思えます。

伊藤委員：進捗評価シートの31ページですが、入館者数は全体的に見れば減少傾向にあります。新型コロナの影響はどのように考えていますか。また、それに対する何か取り組みなどはありますか。

事務局：新型コロナの影響により、旧崇広堂の入館者数は1,062人が13人とかなり減少しています。他の施設についても同様の影響があるものと思えます。令和2年度の入館者数は4・5月を考えるとかなり厳しい数字となると想像します。

伊藤委員：事業は進捗しているが、入館者数等による評価となると厳しいものがあり、他の評価観点を用意しておく必要があると思えます。また、表には閉館期間を明示するなどの工夫が必要と思えます。

菅原委員：新型コロナ後の評価の観点を考える必要があると思えます。新たな観点を今、提示することはできませんが、協議会の今後の課題としたいと思えます。他、意見ございませんか。進捗管理シートの32ページに計画全体の意見の記載があります。全体計画にかかる意見をお聞きしたいと思えます。滝井委員いかがですか。

滝井委員：ヘリテージマネージャーとしての活動としては、島ヶ原と阿保地区の登録有形文化財候補2件の調査を実施したので、今後、詳細な調査して文化財登録に挙げたいと考えています。

事務局：島ヶ原・阿保地区には歴史的建造物は残されているものの、(近世島ヶ原宿沿いには)まだ、登録文化財がありません。建物の調査を経て登録文化財の登録を進めたいと考えています。

滝井委員：島ヶ原・阿保地区について具体的な事業が未だ実施されていない状況があります。速やかに事業が展開できるよう地域との協議をお願いします。阿保地区には伊賀市ミュージアム青山讃頌舎が開館し、大村神社と初瀬街道を一体とした取り組みができる可能性があると考えています。

菅原会長：阿保地区の安本委員いかがでしょうか。

安本委員：阿保地区はもともと観光できるところが少ないですが、伊賀市ミュージアム青山讃頌舎が本格的に開館します。また重点区域からは外れますが、川上ダムもあり、観光拠点の1つとなっていくものと考えています。

事務局：阿保地区の方々とも協議の場を持たせていただき、具体的な事業の実施に向けて動いていきたいと考えます。

菅原会長：島ヶ原地区の奥川委員いかがでしょうか。

奥川委員：島ヶ原には文化財もたくさんあるので、管理・保存を中心にお願いしたいと思います。また、島ヶ原地区との協議の回数を増やしていただきたいと思います。

菅原会長：松生委員いかがですか。

松生委員：城下町地区においては、古い建物がいつの間にかなくなっている状況が見られます。所有者の考え方もあって、市民としては何ともできない状況にあります。また、文化財に指定された旧上野市庁舎は活用の方向が未定であるが、成瀬平馬家長屋門については活用の方向が決まりました。新たにトイレが出来ましたが、白鳳公園レストハウスのトイレの老朽化といった施設の改修の課題もあります。これらを結ぶ動線を確保するといった意味での道路の舗装など、具体的な事業が必要と感じています。修景助成事業については事業が無かったとのことですが、相談から事業化等段階があると思うのですが、そのあたりいかがですか。

事務局：令和元年度については3・4件の相談がありましたが、助成対象になる修景工事には至りませんでした。より厳しい区域のみが助成対象となっているなど課題もあり、城下町区域においては「うえのまち風景づくり協議会」を再開し、地域と意見交換し、活動を行なっていきたいと考えています。

菅原会長：修景助成について、計画通り進んでいるとなっていますが、これはどう考えればよいでしょうか。

事務局：助成の制度があり、平成28・29年度については事業が行われました。修景助成事業にかかる市民からの相談はあります。修景助成の周知を図りながらも事業には結びつかなかったということかと思えます。

菅原会長：藤森委員いかがですか。

藤森委員：進捗管理シート16ページ、ポケットパーク整備事業についてですが、活用等、今後の予定はありますか。

事務局：ポケットパーク事業は、中心市街地における利便性の向上、交流の拠点として位置づけて整備してきました。隣接するハイトピア、市駅と一体化して活用したいと考えています。近々地域と活用について協議を行う予定をしています。

伊藤委員：事業の進捗については、実施中、完了、協議中、などと表現されていますが、進捗状況にしては分かりにくいのではないかと思います。

菅原会長：事業評価については再度、考える必要があります。嘉戸委員はどうですか。

嘉戸委員：いただいた資料のみで考えておりますが、やはり事業の進捗状況が分かりにくいのではないかと思います。事業の進捗について全体計画の何パーセントといった形で示すこともあるのだと思います。

菅原会長：皆さんから意見をいただきましたが、事業の成果は、新型コロナ後の社会の変化に対応した評価を考える必要があるかと思えます。また、進捗の表し方には工夫が必要かと思えます。

皆さんからのご意見をこの場で集約することは難しいので事務局にまとめて

いただき、会長へ提案をいただいで承認していきたいと思いますがいかがですか。

(委員から特に意見なし)

(2) 令和2年度事業について

《資料5・6により福島主幹が説明》

(委員から特に意見なし)

(3) 中間評価に向けて

《資料7により福島主幹が説明》

(質疑応答)

菅原会長：新型コロナウイルスの感染拡大を受けて、新しい生活様式の導入以後のこの計画をどのように考えるのか、中間評価にもその視点を入れる必要があります。

4. その他

事務局：伊賀市歴史的風致維持向上協議会の位置づけに関係して設置要綱の一部を変更する予定です。委員の皆様には、引き続きよろしく申し上げます。

5. 閉会挨拶

中林事務局長